

岐阜県防災会議 議事要旨

1 日 時

令和7年3月19日（水） 14:00～14:40

2 場 所

県庁5階 災害対策本部 及び オンライン

3 出席者

別紙のとおり

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 議題
 - ・岐阜県地域防災計画の修正について
- (3) 報告事項
 - ・能登半島地震を踏まえた震災対策の見直しについて
 - ・第3期岐阜県強靱化計画及びアクションプラン2025について
 - ・第五期岐阜県地震防災行動計画について
 - ・岐阜県における防災予算について

5 議事要旨

【出席者の報告】

<事務局（危機管理部長）>

- ・出席者の紹介については、「出席者名簿」で代えさせていただく。
（出席者：計46名）

【議題 岐阜県地域防災計画の修正について】

<議長（岐阜県防災会議会長 岐阜県知事）>

- ・災害対策基本法第40条第1項の規定に基づき、岐阜県地域防災計画の修正案について審議をお願いする。
- ・修正案について、事務局から説明する。

<事務局（危機管理政策課長）>

- ・資料1-1「岐阜県地域防災計画の修正について」により説明する。
- ・今回の修正項目は、大きく2点。1点目は、昨年6月の国の「防災基本計画」の修正の反映。2点目は、今年度、県で作成作業を行った「能登半島地震を踏まえた震災対策」及び「第3期岐阜県強靱化計画」を反映している。

- ・ 2 ページには、「最近の施策の進展等を踏まえた修正」を記載している。昨年 6 月から、国で新たに運営が始まった「総合防災情報システム」と、県の「被害情報集約システム」とのデータ連携について追記を行った。
- ・ また、在宅、車中泊での避難者に対する支援方策の検討や、被害情報の把握を円滑に行うための自治体、保健師、NPO など、様々な主体間の調整について盛り込んだ。
- ・ 3 ページには、「関連する法令の改正を踏まえた修正」を記載している。
- ・ 医療法の改正を踏まえ、災害支援ナースによる応援体制の整備を追記したほか、災害対策基本法施行令の改正を踏まえ、災害応急対応に従事する緊急通行車両の標章を、平時においても、あらかじめ交付できる旨を盛り込んだ。
- ・ 4 ページでは、国の計画における「令和 6 年能登半島地震を踏まえた修正」の反映を記載している。
- ・ 情報収集や現場進入の観点から、車両や資機材の小型化・軽量化や、ドローンなどの無人航空機の活用を追記したほか、避難所運営の際、パーティションや段ボールベッドを開設当初から設置することや、トイレトラックなど、快適なトイレの設置について盛り込んだ。
- ・ 5 ページでは、岐阜県が実施した「能登半島地震を踏まえた震災対策の見直し」や、「第 3 期岐阜県強靱化計画」の反映を記載している。
- ・ 道路ネットワークの整備や、橋梁耐震・段差対策などの推進について追記したほか、道の駅への応急対策用資機材の備蓄コンテナの設置推進、非常時の通信体制としての衛星通信を活用したインターネット機器の整備について盛り込んだ。
- ・ 6 ページでは、「建物耐震化」について記載している。
- ・ なかなか耐震改修が進まないことを背景に、耐震シェルターなど、新たな防災手法についての検討を追記したほか、複合災害の観点も含め、仮設住宅の建設可能用地ごとの災害リスクの把握などについて盛り込んだ。
- ・ 7 ページでは、「避難所関係」について記載している。
- ・ 避難所運営の強化を図るため、自治会が行う、季節に応じた訓練への支援などを追記したほか、研修の開催などを通じた福祉避難所の充実・強化を図るための支援を盛り込んだ。
- ・ 加えて、県の「分散避難システム」を活用した指定避難所以外の避難者の情報把握や、2 次避難の検討について追記した。
- ・ 8 ページでは、「県・市町村間の連携強化」について記載している。
- ・ 広域連携の強化を図るため、他県からの避難者や観光客の受入れを想定した

避難対策の検討を追記したほか、被災者一人ひとりの生活再建にスポットを当て、継続的な支援を行う災害ケースマネジメントの推進について盛り込んだ。

- ・ 9 ページでは、「デジタル等新技術の活用や、複合災害」について記載している。
- ・ 様々な場面における新技術の活用推進を追記したほか、マイナンバーカードや、専用アプリを活用した、効率的な避難者の把握・管理に向けた調査研究の推進について盛り込んだ。
- ・ 加えて、地域の特性に応じ、発生する可能性の高い複合災害に関する周知・啓発などについて追記した。

<議長（岐阜県防災会議会長 岐阜県知事）>

- ・ ただいまの事務局の説明について、御意見を受け賜る。
- ・ 御意見がある場合、会場で出席いただいている方は挙手を、オンラインで出席いただいている方は、所属と氏名を御発言願う。
- ・ 意見がないため、会場出席いただいている委員から一言ずついただきたい。

<大溝 岐阜地方気象台長>

- ・ このところ、顕著な気象現象が、季節や時間、場所を問わずして発生している。
- ・ 気象台としては、対応が必要な気象現象が発生した際には、県や市町村と連携し、適切な情報を発信していく。
- ・ 日頃から気象に興味を持つ姿勢が防災力向上につながる。朝起きたら空を見て天気や気温を感じ取るなど、普段から気象に興味を持つことが重要。

<山下 子ども・女性局副局長>

- ・ 本日議決を経て、来年度からの5年間計画となる「岐阜県こども計画」を策定した。
- ・ 本計画には、子どもたちの声を聞き、今後の施策に反映していく旨がちりばめられている。
- ・ こども計画の策定に当たり、パブリックコメントを実施した結果、「防災イベントや防災グッズ配布で防災意識を高めたい、自分で災害に備える準備をしたい」など、小学生からも多くの意見が寄せられた。
- ・ 岐阜県地域防災計画を修正するに当たり、子どもという存在を尊重し、見える化してほしい旨を事前に提案させていただいた。この提案に対応いただき、子ども関連の文言を反映・見える化を進めていただき感謝する。

<議長（岐阜県防災会議会長 岐阜県知事）>

- ・次年度、政策オリンピックで住民参加型の防災訓練を開始する予定。
- ・子どもの目から選ばれる視点は重要であり、政策オリンピックにおいても、子どもたちの視点を活用するため、小中高生を審査委員として招く案を検討している。

<山下 東邦ガスネットワーク（株）地域計画部 西部計画センター所長>

- ・上下水道の耐震化計画に基づく対策が追記されている。
- ・上下水道は生命に直結するライフラインであり、非常に重要。
- ・同じライフライン事業者として、これらの対策が行われることを評価する。

<青木（公社）岐阜県看護協会会長>

- ・今回の計画の修正で災害支援ナースの整備について明記いただき評価する。
- ・災害支援ナースの整備に向け、毎年100名を目標に災害支援ナースの研修を実施している。今後は、派遣可能な看護職だけでなく、県内の全看護職を対象に研修を実施していきたい。
- ・毎年「看護の日」に開催されるイベントを今年は5圏域に拡大し、災害派遣経験のある看護師が活用された物品や準備の重要性を紹介する予定。

<清水 岐阜市自主防災組織連絡協議会長>

- ・能登半島地震の視察を踏まえ、避難所の質の向上が必要であると実感した。
- ・長期的な避難所生活が続けば、疲弊感が蓄積される。段ボールベッドや薄暗い生活環境の改善が必要と考える。
- ・自主防災活動において、若い人の参加が重要。そのため、防災士研修に若者、或いは中学生の参加を積極的に呼びかけている。
- ・県には、引き続き避難所の環境改善について継続的な配慮をお願いしたい。

<能島 岐阜大学教授>

- ・国の防災基本計画や能登半島地震を踏まえた震災対策の見直し、岐阜県強靱化計画の内容が反映された大規模な修正と認識しており、それらの教訓を活かした意欲的な取り組みとして評価する。
- ・計画を実際に機能させるための実効性向上が重要であり、そのためには行政、県民、事業者の事前連携が鍵。
- ・これらを発災後に構築するのは難しいため、日頃から関係強化を進め、自助・共助を支える公助に取り組んでいただきたい。

<議長（岐阜県防災会議会長 岐阜県知事）>

- ・計画を作るだけでなく、実際に行動に移すことが重要。
- ・そのため、次年度に進める防災訓練には、子ども、高齢者、障害のある方も可能な形で参加いただき、実際の避難行動や飯ごう炊さんなどを体験いただ

くような取り組みを進めたい。

<岩井 日本防災士会岐阜支部長>

- ・ これまでも発言させていただいた、防災シェルターに関する検討が進展し、今回「耐震シェルターなど新たな防災手法の検討について」として追記いただき感謝する。
- ・ 今後は、岐阜県産ヒノキの間伐材を利用した地産地消型シェルターの実現を期待している。
- ・ 計画に盛り込まれる応急仮設住宅や支援職員用のテント、ボランティア受け入れ施設などの計画を事前に策定しておくことが重要。
- ・ 我々が地域活動の一環として行った段ボールベッドの設置訓練では、支援を受ける立場にあった子どもや高齢者に実際に体験していただくことで、自身で設置可能であるという自信を得ていただく効果を実感した。
- ・ 県には、今後も子どもや高齢者が主体的に参加できる場を提供いただくことを期待している。

<議長（岐阜県防災会議会長 岐阜県知事）>

- ・ 次年度、喫茶店を活用した地域交流プロジェクトを実施予定。
- ・ 一人暮らしの高齢者が集まり、モーニングを楽しみながら健康づくりを進めていく。
- ・ このプロジェクトで、将来的には防災をテーマにした活動をする可能性もある。

<岡本（一財）岐阜県身体障害者福祉協会長>

- ・ 公的施設である小中学校が指定避難所になることが多く、障がいがある方にとっては、移動が難しいケースがある。
- ・ そのため、計画に追記いただいた指定避難所以外への避難者の把握を可能にする分散避難システムの活用を進めていただきたい。
- ・ 特に、要支援者台帳に登録されている方への対応が重要。

<伊藤 清流の国ぎふ女性防災士会長>

- ・ 災害発生後においても、普段の生活をそのまま移行できるような環境を整備することが求められ、その際にはスフィア基準を基本とすることが重要。
- ・ 加えて、スフィア基準の内容を広く周知し、理解を深めてもらうための普及啓発活動が必要。
- ・ また、事前対策の強化が求められる。東京都港区の取組みであるが、公営住宅で家具固定の穴の原状復帰を不要としている。
- ・ 岐阜県の公営住宅においてもこのような取組みが進むことを期待している。

<議長（岐阜県防災会議会長 岐阜県知事）>

- ・大変貴重なご意見を賜り感謝する。
- ・岐阜県地域防災計画修正案については、御了承いただいたものとしてよろしいか。

[委員から異議なし]

<議長（岐阜県防災会議会長 岐阜県知事）>

- ・岐阜県地域防災計画の修正案については、了承されたものとして決定する。

資料1-1から資料1-7のとおり岐阜県地域防災計画を修正することを決定

【報告事項】

<議長（岐阜県防災会議会長 岐阜県知事）>

- ・「能登半島地震を踏まえた震災対策の見直しについて」「第3期岐阜県強靱化計画及びアクションプラン2025」「第五期岐阜県地震防災行動計画」「岐阜県における防災予算」の4点について事務局から報告する。

<事務局（危機管理政策課長）>

- ・資料2「令和6年能登半島地震に学ぶ—今後の震災対策—」について報告する。
- ・本県では、能登半島地震を受け、資料にある4つのテーマを軸に、震災対策の見直しに取り組み、有識者のご意見、国の検証結果なども盛り込み、本年1月に最終報告を取りまとめ、公表を行った。
- ・次に、資料3-1「第3期岐阜県強靱化計画の概要」について報告する。
- ・岐阜県強靱化計画は、県の防災に関する最上位の計画となる。現行の第2期計画の期限が到来することから、来年度からの5か年計画となる第3期計画の策定に取り組み、本日、県議会でご承認いただいたところ。
- ・能登半島地震の課題も踏まえつつ、大きく13の分野に渡り、施策の推進方針を取りまとめ、その分野ごとに、5年で達成すべきKPIを整理した。
- ・また、資料3-2として、「岐阜県強靱化計画アクションプラン2025」をお配りしている。
- ・こちらは、強靱化計画に基づき、令和7年度に取り組む施策を取りまとめたものであり、今後も、各年度にこうしたアクションプランを策定し、強靱化計画の進捗を、都度、把握・管理していく。

- ・次に、**資料4**「第五期岐阜県地震防災行動計画の概要」について報告する。
 - ・この計画は、阪神淡路大震災から10年が経過した平成17年4月に制定した「岐阜県地震防災対策推進条例」に基づく計画である。
 - ・平成18年4月の策定以降、概ね5年おきに改定しており、強靱化計画同様に、今回、改定のタイミングとなったことから、第五期計画を策定した次第。
 - ・今回は特に、県民や事業者の皆さまと共に対策に取り組む観点を、具体的に明記した。
 - ・加えて、「地震による災害死ゼロを目指して」というスローガンを、新たに設定した。
 - ・防災対策は、行政だけでは限界があるので、本日もご出席の皆様においても、事業者や、一人の県民としての備えの充実、従業員の方などに、計画の内容を広く周知いただければ幸い。
-
- ・最後に、**資料5**「岐阜県における防災予算」について報告する。
 - ・県の防災に関する予算が、どの程あるのかをお示しする資料であり、道路整備などのハード予算も含んでいる。
 - ・令和7年度は、総額で、1,143億円程であり、県の予算額の全体に占める割合は、12.7%と、前年度とほぼ同じとなっている。

<議長（岐阜県防災会議会長 岐阜県知事）>

- ・報告事項については以上のとおりであるが、この際、何か意見等があれば発言を願う。

[委員から発言なし]

<議長（岐阜県防災会議会長 岐阜県知事）>

- ・最後に、防災には完璧はなく、一人ひとりが常に準備を怠らないことが重要。
- ・マニュアル通りに進められない状況もあり、臨機応変な対応が求められることもある。
- ・専門家の経験や助言は最大の財産であり、引き続き協力をお願いしたい。
- ・それでは、以上で本日も予定していた次第は全て終了とし、進行を事務局に戻すこととする。

<事務局（危機管理部長）>

- ・以上で岐阜県防災会議を閉会とする。